

Fitness Industry Association

発行: 一般社団法人日本フィットネス産業協会
 TEL.03-5207-6107
 FAX.03-5207-6108
 E-mail. ftys@fia.or.jp
 http://www.fia.or.jp

NEWS

編集: (株)クラブビジネスジャパン
 フィットネスビジネス編集部
 TEL:03-5459-2841
 FAX:03-3770-8744
 E-mail.info@fitnessclub.jp
 http://www.fitnessclub.jp

Board Meeting

理事会報告

第158回理事会開催

来年度計画と予算案などについて審議

平成25年3月8日(金)、弘済会館(東京・麹町)にて第158回 FIA理事会が開催されました。田中会長、村井副会長、吉田副会長ら、理事・監事ら19名が参加し、来年度の活動計画ならびに予算案などについて審議いたしました。審議の結果や報告事項などについて以下の通りご報告します。

1. 新規入会および退会承認について

◆賛助会員

<入会>

・株式会社ギムニク

(本社 大阪府大阪市 代表取締役 住本一氏)

・株式会社ドリームス

(本社 東京都千代田区 代表取締役 坂井修氏)

・株式会社アライアンス

(本社 東京都港区 代表取締役 荒川毅氏)

・株式会社ウェルビー

(本社 神奈川県横浜市 代表取締役 石原悟氏)

・特定非営利法人日本トレーニング指導者協会

(本部 東京都港区 理事長 窪田登氏)

<退会>

◆正会員

・株式会社 南海スポーツ企画

◆賛助会員

・関西電力株式会社

以上の結果、平成25年3月8日現在の会員数は、正会員97社、賛助会員100社、計197社となっている。

2. 後援名義使用申請および特別協力申請の件

以下の3件について、審議のうえ、すべて後援名義の使用を承認した。

●日本ダンス技能向上委員会

催事名: 日本ダンス大会(仮称)

会期: 2013年6月15日(土)・16日(日)

会場: 神奈川芸術劇場 大ホール

趣旨: ダンス、チアダンスを生涯スポーツとして位置づけ、その社会的認知の向上を図る

●フィットネスセッション実行委員会

催事名: 第27回フィットネスセッション

会期: 2013年5月3日(金)～5日(日)

会場: 東京YMCA東陽町ウエルネスセンター

趣旨: フィットネス、スポーツに関わる指導者・関連従事者の質的向上を図る

●全国スポーツクラブEKIDEN東京大会実行委員会

株式会社クラブビジネスジャパン/株式会社ドリームス

催事名: スポーツ感動体験2013『全国スポーツクラブEKIDEN 東京大会』

会期: 2013年7月14日(日)

会場: 夢の島陸上競技場特設会場

趣旨: スポーツクラブの活性化(新規会員獲得、会員帰属意識を喚起し継続につなげる)

※同時開催: スポーツ感動体験2013年

『絆 EKIDEN 東京大会』

3. FIA関連イベントのスケジュールについて

※2ページ<FIA関連の主な行事等>の表参照

4. 「SPORTEC 2012」結果報告について

FIAスタッフが実行委員として運営参画しているSPORTEC 2012事務局より結果報告があり、その内容を確認した。

(以下、同事務局報告より引用)

(1) 総括

FIAの特別協力のもと、昨年2012年11月21日(水)～23日(金・祝)の3日間、東京ビッグサイト東6ホールにてSPORTEC 2012は盛大に開催されました。出展者数は、2011年のリニューアル開催した年の178社に比べて118.5%増加し、211

社(共同出展者含める)となったうえ、来場者数は2011年の25,874人より5,000人以上、120.4%増加し31,155人となり、日本最大級のフィットネス・スポーツの総合展示会・カンファレンスとして盛況に会期を終了することができました。このような素晴らしい結果にて無事会期を終了できましたのも、FIAのご協力の賜物と事務局一同厚く御礼を申し上げます。

また、SPORTEC は2020年オリンピック招致活動やスポーツ庁創設に向けた日本政府の動き、高齢化による健康志向の上昇、マラソンなどのエンデュランス系スポーツ人口の上昇などの外部要因にも後押しされ、順調に日本を代表するスポーツ総合展として拡大してきています。

今年2013年も、日本のスポーツ人口拡大に寄与し、スポーツビジネスに関わる企業・団体ビジネス機会と市場の創造、スポーツ関係トレーナー・指導者・インストラクターなどのスペシャリストの地位向上とレベルアップなど、フィットネス・スポーツマーケットの今後に大きく寄与し、アジア中よりスポーツビジネスに関わる方々が来場する展示会となりますよう、計画を進めてまいります。

2013年もFIAの変わらぬご協力とご支援を引き続き宜しくお願い申し上げます。

(2) 会計報告について

2012年のSPORTEC の収支に関しましては、若干の余剰金を残し、2013年1月末の最後の請求書を確認し、会計を終了いたしました。2013年は会場を駅より近い東京ビッグサイト西3・4ホールに移動し、会場面積を40%ほど拡大いたします。それに伴い会場料と会場運営費の展示会場装飾費用、警備費用、電気使用量などの増加が見込まれますが、出展社数の増加により、ほぼ増加分は吸収できると見込んでいます。

(3) SPORTEC 2013について

SPORTEC 2013は日本最大級のフィットネス・スポーツに関する総合展示会として、2013年12月5日(木)～7日(土)に東京ビッグサイト西3・4ホールにて盛大に開催いたします。2013年より、SPORTEC をビジネス目的ごとに専門的な6つの展示会に分けて、出展者・来場者双方にとってわかり

やすく、商談しやすい形といたします。具体的には、フィットネスEXPO/ヘルス&スポーツフードEXPO/リラクゼーションEXPO/体育・運動施設/スポーツ用品EXPO/スポーツサイエンス・テクノロジーシンポジウムとし、各々の展示会ともにエリアを分けてレイアウトいたします。出展企業の募集につきましては2013年2月末より開始いたします。FIAのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

(引用ここまで)

5. 委員会分野別の活動状況とFIAとしての今後の進め方 ＜社会・渉外委員会＞

(1) 賀詞交歓会

平成25年1月25日(金)11:00～13:00 弘済会館にて開催。参加者は、来賓4名、正会員:21社54名、賛助会員39社103名、他5名の合計166名。

(2) 医療連携プロセス標準策定調査

コンソーシアムへ参加

計10回の委員会を終了。経済産業省プロジェクトとして、初めて日本医師会に対しての説明および協力要請を行った。将来、医師に運動指示書(仮称)発行をお願いする文書や、医師からの運動指示書(仮称)などのフォーマット案を作成した。また、日本医師会では、健康スポーツ医・産業医の活動領域拡大を検討している委員会に付議した。

(3) FIAマスターズスイミング選手権大会2013開催

日程:3月16日(土)・17日(日)

場所:平塚総合公園温水プール

申込状況:1,092名(対前年比:66%の減少)

理由:会場キャパシティの縮小および、平塚という交通の不便さ(遠い)に対するクレームも複数寄せられた。

※今年度は例年通り再び、千葉県国際総合水泳場にて開催が決定。

(4) HFJ(Health Fitness Japan2013)準備状況について

FIA提供講座2講座について、実施することを決定。大手・

＜FIA関連の主な行事等＞

平成25年			
3	16(土)・17(日)	FIAマスターズスイミング選手権大会2013	平塚総合公園温水プール
6	18(火)～20(木)	HEALTH FITNESS JAPAN	東京ビッグサイト
9	29(日)	FIAマスターズスイミングフェスティバル2013	京都アクアリーナ
12	5(木)～7(土)	SPORTEC 2013	東京ビッグサイト
平成26年			
1	24(金)	賀詞交歓会	弘済会館 ※予定
3	15(土)・16(日)	FIAマスターズスイミング選手権大会2014	千葉県国際総合水泳場

中小の既存プレイヤーの経営の状況や今後の戦略、さらには新興勢力の動きなど、FIA提供講座に相応しい内容で検討することになった。

(5) IHRSA関係について

①戦略的パートナーシップ契約の継続について

平成25年2月21日(木)にIHRSAアジア太平洋地区ディレクターJ.Holsinger氏と会談。パートナーシップ協定の次年度以降の取り扱いについて協議し、以下について合意した。

- ・協定に基づくFIA分会費を支払う意向であること。
- ・FIAがThe Pulseは継続して会員宛に再配信する際、IHRSAのロゴを明記することを条件に、必要に応じて会員に全文を提供することができる。
- ・毎年発行されるGLOBAL REPORTに関して、IHRSAの事前承認を得ることを条件に、FIAが必要に応じて会員にその情報を翻訳し、提供する。
- ・FIAは、年2回、日本のフィットネスマーケット市場状況、成長性、および業界の課題などについて英文にてレポートする。
- ・FIAは、日本の市場における速報に関してIHRSAのパブリケーションとして有効な情報と判断する場合、それを英文にしてIHRSAに送る。

- ②FIAは、今後フィットネスに関するグローバルマーケットの情報をタイムリーに入手し、会員に情報提供すること。さらにはグローバルマーケットにおける日本市場のプレゼンスを高め、海外市場進出をサポートするためにも、IHRSAコンベンション並びにASIA PACIFIC FORUMにおけるFEDERATION MEETINGには積極的に参加することに対して、開催情報の提供などを通してIHRSAが積極支援することの同意を得た。
- ③現在、会員に対して定期配信しているThe Pulseについては、今後、その翻訳の外注を今年度いっぱい終了する。今後は主要なトピックについて事務局内部にて日本語の要約を行い、必要に応じて英文のまま全文を配信する。

<調査研究委員会>

(1) アンケート調査関係

「フィットネスクラブの価値が正しく生活者に伝わるようにする」という最上位の目的を達成するための調査を、年度内に実施することが決まった。アンケート対象者について、今回の調査は1次調査でもあるため、対象を広く退会者、未入会者に対して行うこととする。対象を絞った調査やより深掘りする調査は、この1次調査の結果を受けて、今後継続的に行う。

- ・調査対象: フィットネスクラブの過去の会員(退会者)、未入会者
- ・調査方法: ネット調査
- ・スケジュール: 2012年度内に調査を実施し、早急に分析を進める。2013年度には、結果と分析を冊子にまとめ、正会員、賛助会員、その他広く関係施設・団体施設などに周知する(会員以外は有料)。

<事業委員会>

(1) FIA加盟クラブ対抗駅伝事業(仮称)について

昨年来協議事項となっている標記の新規事業について、新たな企業提案が寄せられ、審議の結果、次年度はFIA後援のうえ、各クラブごとに協力することにした。さらに次々年度は、次年度の結果をもって、FIA主催とするなど運営のあり方を再検討することになった。

(2) フィットネスクラブにおける管理責任者(支配人・マネージャーなど)の資質認定について

フィットネスクラブにおける管理業務の質的向上とその均一化、および職能に対する評価基準の明確化などを主たる目的とした資質認定(または検定)制度の創出について、その意義と可能性に関して検証してはどうかという提案があった。本件については次年度以降、その是非の検証のためのリサーチを進めることにしたい。

<組織基盤拡充委員会>

(1) FIA加盟クラブの拡大に関する取り組みについて

地方のフィットネスクラブ協会との連携活動について、さらなるサポートを行い、組織基盤を固める。地方拠点セミナー活性化を図る。

(2) 各地域連携セミナーの実施報告

① FIA北陸セミナー開催

テーマ: 「想いが伝わる・ペップトーク」

講師: 岩崎由純氏

日時: 平成25年2月14日(木) 10:00~12:00 / 13:00~17:00

場所: ホテルグランティア小松エアポート(石川県 小松市)

参加者: 40名

② FIA・みちのくフィットネスクラブ協会共催セミナー

テーマ: 「フィットネス業界に関わりたいと考えている学生への業界説明会」

講師: みちのくフィットネスクラブ協会幹部スタッフ一同

日時: 平成25年2月16日(土) 14:00~17:00

場所: 宮城県仙台市大塚製菓アゼリアホール

参加者数: 45名

※事務局松村も15分の講義時間を持ち、国内外のフィットネス産業のトレンドについてレクチャーした。

③ FIA・北九州スポーツクラブ連絡会共催セミナー

テーマ: 「フィットネスクラブにおけるサービスをデザインする」

日時: 平成25年3月14日(木) 13:30~17:00

場所: ANAクラウンプラザホテル福岡

参加者: 50名

6. 来年度計画作成と予算などのスケジュールについて

平成25年度FIA予算編成の基本的考え方を審議し、細かな部分を除き承認となった。ただし、HPIについては、引き続き刷新に向けて検討する。

- (1)単年度収支均衡を基本とする。
- (2)寄付金収入としてきた各事業への協賛金を、各事業に復活割り当てる。
- (3)収支項目
HPの刷新による充実を図ることに連動させて、パナー協賛を募るなどの新たな試みを検討する。
- (4)支出項目
 - ①地方拠点セミナーが1~2年実施されなかった地区についても実施する。組織基盤拡充の観点から各地域組織との連携強化を図る
 - ②節電キャンペーン
数値目標を伴う節電計画が設定され、広報要請があった場合、ポスターのデザインをデータ化して会員に配信するなどの手法をとり、郵送料を合理化する。
 - ③IHRSA年会費
The Pulseの翻訳については事務局にて要訳を行い、委託料削減。海外のマーケット情報収集とネットワーク強化のため、Federation Meeting参加および、海外コンベンション参加費用を継続して準備。
 - ④敬老の日イベント
ポスター・チラシの配送費用合理化を図る。データ配信・封筒サイズ折りたたみ方式などを検討。広告協賛社募集活動の強化検討も選択肢に。

■FIA会員情報漏洩賠償責任保険(正会員対象)

クラブは多くの会員の個人情報を持っています。これら流出させてしまった場合の対処費用を補填する賠償責任保険で、FIA独自の団体保険として平成18年6月に創設したものです。幸いFIAでは昨今報道されている外部からの悪意ある侵入による流出はないようですが、スタッフによる自宅残業用持ち出しデータの紛失、ワンクリックミスによる特定会員ネット指導データの多数への配信など、本来ないはずでも「ありがち」な事案は報告されています。会員数と補償規模によって保険料が算出される仕組みです。正会員代表者・担当者さま宛に郵送されているご案内にも掲載していますが、概算額については「見積り請求」で正確な保険料がわかりません。ご活用ください。



■九州セミナー開催

3月14日(木)、福岡市において九州スポーツクラブ協議会と共催にてFIA九州地区セミナーを開催しました。「フィットネスクラブにおけるサービスデザインの概要・手法・プロセス」をテーマに、クラブ独自のサービス構築に向けたスタッフの意識づくりの手法を、講義と実習を通して学びました。講義の受講のみに止まらず、顧客の心をつかむサービス提供を探るための“仮説ユーザーの分析”手法も提案され、その体験のドリルワークも取り入れられました。ご参加は、九州各地のフィットネスクラブから参加されたマネージメントクラスの方々。現場に帰ったら早速、スタッフ研修も兼ねて実践したいという声もいただきました。



九州地区セミナーでの講義模様

Information

お知らせ

■FIAマスターズスイミング選手権大会2013開催

3月16日(土)・17日(日)の2日間、平塚総合公園温水プールにて開催し、267チーム、1,091名の参加者により競技が行われました。世界記録1件、日本記録5件の成績を得たほか、開会式では佐野日本水泳連盟会長並びに高木日本マスターズ水泳協会専務理事よりご挨拶をいただきました。参加者募集と競技運営にご協力いただいた各社の皆さまに御礼申し上げます。

■経済産業省 産業構造分析 当業界レポート

経済産業省の年次調査報告「産業活動分析2012」では、「今期のトピックス」で、「シニア層の健康志向に支えられるフィットネスクラブ」と題したレポートを掲載しています。強まる健康志向や堅調なスポーツクラブ支出において、シニア層が他世代をリードしている状況を分析しています。

<http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/bunseki/pdf/h24/h4a1303j2.pdf>

■IHRSAとの『戦略的パートナーシップ契約』の更新、ラスベガスにて合意

去る、3月19日から3日間、ネバダ州ラスベガスにおいて「IHRSA2013」が開催されました。FIAからも事務局の松村が参加し、IHRSAとの会談も同時開催されました。主に、標記のパートナーシップ契約の更新について話し合わせ、引き続き契約更新することで、それぞれの国におけるフィットネスクラブマーケットのみならず、広くグローバルワイドなフィットネス産業の活性に向けて、情報交換を核として協調していくことで合意しました。今後、皆さまには積極的に欧米のみならずアジアも含めた、フィットネス産業に関する情報をリアルタイムに提供させていただきます。



IHRSAアジア担当ジョン・ホルシンガー氏(左端)らスタッフと

New Clubs

出店情報

4月のオープンクラブ

ホリデイスポーツクラブ盛岡

所在地:岩手県盛岡市月が丘2丁目2番8号
TEL:019-648-7900

フィットワン赤羽店

所在地:東京都北区赤羽1-7-9 赤羽第一葉山ビル8F
TEL:03-5939-9511

フィットワン松戸駅前店

所在地:千葉県松戸市松戸1230-1 ピアザ松戸9F
TEL:047-703-7611

ゼクシス上尾

所在地:埼玉県上尾市谷津2-1-1
TEL:048-729-5895

Curves武蔵野八幡町

所在地:東京都武蔵野市八幡町1-1-1
TEL:0422-36-5033

Curvesゆめタウン柳井

所在地:山口県柳井市南町4丁目5-3
TEL:0820-24-1515

Curvesあづみ野

所在地:長野県安曇野市豊科南穂高492-1
TEL:0263-87-7301

Curves網走

所在地:北海道網走市つくしヶ丘2丁目7番9号
TEL:0152-45-1201

Curvesいなげや松伏

所在地:埼玉県北葛飾郡松伏町松葉1-5-3
TEL:048-993-0888

Curvesせんちゅうパル

所在地:大阪府豊中市新千里東町1-3-403
TEL:06-6155-0960

Curves東武動物公園

所在地:埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸2-7-15
サトウビル1階
TEL:048-053-4384

Curves楠葉

所在地:大阪府枚方市楠葉並木2丁目22番1号 5F
TEL:072-807-7079

Curvesなかもず

所在地:大阪府堺市北区中百舌鳥町3丁428-2
TEL:072-254-6633

Curves浜松富塚

所在地:静岡県浜松市中区富塚町1704-1
TEL:053-473-5441

Curves八王子恩方

所在地:東京都八王子市西寺方町345-5
TEL:042-659-1688

Curves柏富里

所在地:千葉県柏市富里1-1-1 M&Rビル 4F
TEL:04-7168-7017

Issue

記事

軽く汗、仕事にスイッチ、早朝フィットネスにぎわう

健康維持やダイエットのため、入社前にフィットネスクラブでひと汗流す人が増えている。主要駅近くに平日の早朝営業を実施する施設が相次ぎ開業。温泉を備えたり、短時間で運動できるプログラムを用意したりと施設側も特徴を打ち出し、集客を競っている。

JR東京駅丸の内南口の地下1階に2012年10月に開業した「フィットネスラウンジ・ジェクサー東京」(東京都千代田)は温泉を備える。約100人の平日の利用者のうち、3割は午前7～9時に訪れる。利用者は20～30代の男性会社員が中心。

(2013.3.6 日本経済)

走力強化プログラム、ティップネス、都心2店、会員無料で。

フィットネスクラブ大手のティップネス(東京都港区)は4月、速く走るためのフォームを身に付けるスタジオでのプログラムを東京都心の2店舗に導入する。多くのスポーツの基礎となる走力の向上を通じ、総合的な運動能力を高める。速く走るためのトレーニングは個別指導サービスでも提供してきたが、スタジオの無料プログラムとして実施することで、会員のニーズに応える。

(2013.3.6 日経MJ)

宿泊や飲食、割安に、ヤフーが月額会員制

ヤフーは15日、全国の宿泊施設や飲食店、スポーツクラブなどを割安に利用できる会員制サービスを始める。福利厚生代行大手のベネフィット・ワンが企業の健康保険組合向けに提供している約23万種類の割引サービスが月額525円で何度でも利用できる。2014年3月期に20万人の会員獲得を目指す。

新サービスの「デイリーPlus」は会員登録し、決済管理サービスの「ヤフーウォレット」で会費を支払うと利用できる。国内40,000の宿泊施設の最低価格保証のほか、12,000の飲食店、3,000のフィットネスクラブ、1,200の医療機関、2,100の育児施設などが割安になる。1ヶ月単位で入会、退会できる手軽さで利用者呼び込む。

(2013.3.12 日本経済)

保育所で水泳・英語教育、スポーツクラブNASが運営、学童保育兼営

スポーツクラブNAS(東京都江東区)は保育所の運営を始める。近隣の同社フィットネスクラブを活用した水泳指導や会員の高齢者との交流のほか、ネイティブ講師による英語教育が特徴で、4月に都内に第1号の施設を開き、5年ほどで約10ヶ所に増やす考え。小学生向けの学童保育サービスもあわせて提供することで共働き世帯のニーズに応えられるようにする。

(2013.3.15 日経MJ)

コシダカHD、非喫煙者に賞与を加算 3万円を追加支給

コシダカホールディングスは18日、喫煙しなかった社員を対象に賞与を加算する制度を創設すると発表した。コシダカグループに所属する正社員のうち、賞与計算期間中に全く喫煙しなかったと自己申告し会社に認められた人が対象となる。賞与加算額は1ヶ月あたり5,000円とし、6ヶ月ごとの賞与支給時に3万円を追加支給する。2013年3月に支給する賞与から適用する。

同社はカラオケ店と女性向けフィットネスクラブの展開を主な事業としており、カラオケ事業に携わる社員で7～8割、フィットネスクラブではほぼ100%に近い禁煙率をすでに達成できているという。社員や家族の健康増進を図ることに加えて、安倍晋三政権の賃上げ要請にも対応できるとみて今回の制度創設に踏み切った。

(2013.3.18 日本経済)

子供の体力伸びない……「なぜ運動しないの?」、初調査

文科省は実技と同時に実施したアンケートで、運動をあまりしない小中学生の意識を初めて調べ、体力合計点との関係を分析した。体育の授業以外で運動を「ときたまする」か「しない」と答えた割合は、小5の男子が11%、女子が22%。中2は男子が9%、女子が29%。

理由(複数回答)は小5が男女とも「運動が苦手な自信がない」「ほかにしていることがある」「疲れる」など本人に起因する内容が3割前後になった。「場所や機会がない」「一緒にする友だちがいない」など環境面の未整備は15%程度。合計点が低い児童は本人に起因する理由を多く挙げ、点数が高い児童は環境面の未整備が多かった。

(2013.3.23 日本経済)